「**PBL**演習/多文化共生プロジェクト」学修計画書　　提出日:　　年　　月　　日

（1） 立案者　*Name of Representative*

専攻・学年	専攻　　年	Mail	@reitaku.jp
学籍番号		氏名	

(2) 指導教員氏名　*Teacher's name*　　（3）開講学期　*Semesters*

	20　　年　春 ・ 秋　セメスター

（4） 題目　*Main subjects of the course*

※大学の授業として相応しいテーマを選定してください

（5） 学習内容　*Contents of the course*

※学習の趣旨・目的を明確に記してください。別途添付でも可。

（6 ） 学習計画　*Schedule*

回	主要テーマ *Theme*		
1		8	
2		9	
3		10	
4		11	
5		12	
6		13	
7		14	

(6) 評価方法　*Evaluation method*

※必ず教員に確認すること

（7） 学習者名簿 *Register of names*

「立案者」は「No.1」の欄に記入してください。行が足りない場合は、追加してください。（5名以上、20名以下）

No.	学年	専攻	学籍番号	氏名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

聴講者 *Auditing student*

No.	学年	専攻	学籍番号	氏名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

（8）開講曜日時限

開講する曜日時限が決まっている場合は、記入してください。

曜日 時限

※決まっていない場合は、「土曜日6限」で設定しますが、履修登録後の変更も可能です。

学修計画書は、（1）～（8）の内容を、「多文化共生プロジェクト・PBL演習サイト」（学内者限定）に掲載します。

作成に当たっての注意事項、審査基準、チェックポイント

作成にあたっては、下記の項目をよく確認してください。

【注意事項】

立案者は学習者並びに指導教員とよく相談し、この学習計画書を作成すること。
評価方法や評価基準についても、指導教員に確認すること。

【審査基準】

(1) 計画の趣旨および目的が明確でない場合
(2) 指導教員との間で学習計画・内容について十分な打合せを行っていないと判断される場合
(3) 企画・立案に基づき、学生が実行する内容のものとする。単なる講義系の内容はこの科目としての実施は認められない。
(4) 企画・立案された学習内容と同様（授業の進め方を含む）の授業が、本学部の科目として開講されている場合
(5) テーマおよび学習計画・内容が大学の授業としてふさわしくない場合

【チェックポイント】

□ 担当教員に、計画書の内容を確認していただいていますか？
□ シラバス（授業計画）は、具体的に書かれていますか？
「プロジェクト準備／実行／反省」といった概要だけではなく、授業で行われる具体的な内容を記載してください。
内容がわかるように、記載してください。